



2022年11月10日

各 位

会 社 名 株式会社 武蔵野銀行
代 表 者 名 取締役頭取 長堀 和正
(コード番号 8336 東証プライム)
問 合 せ 先 執行役員総合企画部長 松浦 利隆
(TEL 048-641-6111)

剰余金の配当（増配）及び配当予想の修正に関するお知らせ

当行は、2022年11月10日開催の取締役会において、下記の通り2022年9月30日を基準日とする剰余金の配当を行なうこと、及び2023年3月期の期末配当予想の修正について決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 剰余金の配当(中間配当)

	決定額	直近の配当予想 (2022年5月13日公表)	前期実績
基 準 日	2022年9月30日	同左	2021年9月30日
1株当たり配当金	45円00銭	40円00銭	40円00銭
配当金総額	1,509百万円	—	1,341百万円
効力発生日	2022年12月9日	—	2021年12月10日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 期末配当予想の修正

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前 回 予 想 (2022年5月13日公表)	—	40円00銭	—	40円00銭	80円00銭
今 回 修 正 予 想	—	—	—	45円00銭	90円00銭
当 期 実 績	—	45円00銭	—		
前 期 実 績 (2022年3月期)	—	40円00銭	—	50円00銭	90円00銭

※前期実績(2022年3月期)の期末配当金の内訳：普通配当金40円、記念配当金10円(創業70周年記念配当)

3. 修正の理由

利益配分につきましては、地域金融機関として経営の健全性と安定した収益を確保し、内部留保による財務体質の強化を図るとともに、株主の皆さまに報いるため、利益の状況や経営環境等を総合的に考慮した上で、安定的な配当を継続的に行うことを基本方針としております。

こうした方針のもと、2023年3月期は、中期経営計画「MVP70」の最終年度における業績見通し等を総合的に勘案した結果、第2四半期末の1株当たり配当金を40円から5円増額し45円に、併せて期末の1株当たり配当金を同じく5円増額し45円にすることといたしました。

これにより、2023年3月期の年間配当金は1株当たり90円となります。

以 上